



学校評価アンケート調査結果 報告書

令和4年度



2023年1月11日

宮城県柴田農林高等学校

<目次>

令和4年度 学校評価アンケート実施概要	2 頁
I 集計結果および各部コメント	3 頁
II 過去3年間の比較グラフ	11 頁



令和4年度 学校評価アンケート実施概要

1 目的

- (1) 教育活動の改善策を立てるために、高校教育課による「学校評価実施要項」に基づき、学校を総合的・客観的に評価する。
- (2) 本校自らが教育計画の達成度を点検し、その結果を明らかにすることで、保護者及び地域住民の方々から理解され、支持される高校づくりを進める。

2 調査対象 及び 人数

教職員・・・・・・・・・・62名（校長・教頭・主幹教諭・教諭・養護教諭・実習教諭・実習講師・実習助手・講師（養護担当を含む）・事務室長・事務次長・主任主査・主事（学校司書含む））

生徒数・・・・・・・・・・330名（8月27日 ※夏休み終了時点の在籍数）

保護者・・・・・・・・・・約330名（PTA 保護者会員数）

地域住民・・・・・・・・・・約30名（大河原駅長 および 上川原地区各区長 ※郵送）

本校学校評議員・・・・・・・・6名

合計・・・・・・・・・・約758名

3 期 日 令和4年11月8日（火）～11月22日（火）

4 回収数・回収率

① 生徒	293名（88.8%）
② 保護者	164名（49.7%）
③ 無作為に抽出した地域住民	22名（75.9%）
④ 教職員（非常勤講師は含まず）	46名（83.6%）
⑤ 学校評議員	4名（66.7%）

5 結果のまとめ（結果の集計方法）

回答のうち、1（よく当てはまる）2（だいたい当てはまる）を、質問の通りだと感じていると評価し、3（あまり当てはまらない）、4（当てはまらない）を質問のとおりではないと評価して、人数と全回答者からの割合をまとめたものである。分析結果は4ページ以降のとおり。



I

集計結果

および

各部コメント

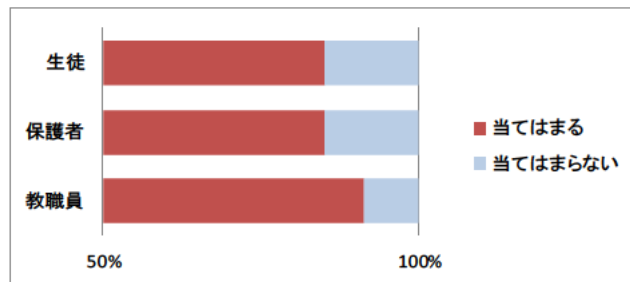


令和4年度 学校評価アンケート 【生徒・保護者・教職員】

設問1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	85.0%	15.0%
保護者	85.1%	14.9%
教職員	91.3%	8.7%

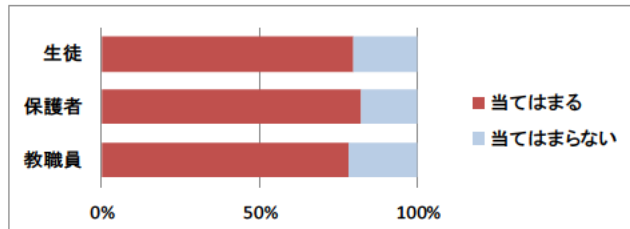


R3年度と比較すると、生徒85.2%、保護者81.4%、教職員90.2%(当てはまる)であった。数字を見る限りでは、生徒、保護者共に肯定的な意見が多かった、保護者自由記述から授業、考査に関するご意見があった。保護者の声に耳を傾け、原因を探り組織で問題解決にあたりたい。

設問2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	79.9%	20.1%
保護者	82.1%	17.9%
教職員	78.3%	21.7%

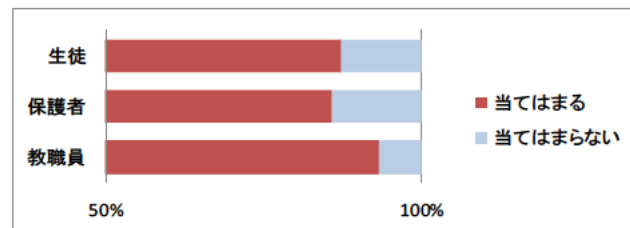


R3年度では、生徒86.4%、保護者82.8%、教職員72.5%(当てはまる)であった。数字を見る限り、教職員は肯定的であったが、生徒からは指導が行われていないと思われる。生徒・教職員間でのギャップが見られる。また、遅刻・欠席する生徒が相変わらず多く、保護者と連絡を密に連携して遅刻者指導を行うなど生活習慣の改善に取り組まなければならないと思う。

設問3 進路指導目標をはっきりさせるための適切な指導が行われている。

(進路指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	87.4%	12.6%
保護者	85.9%	14.1%
教職員	93.5%	6.5%

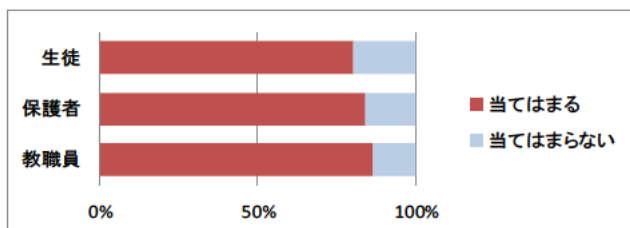


生徒・保護者・教職員共に85%を超えてはいるが、今後はホームページ等を充実させて進路目標を周知し、ガイダンス等の実施で適切な指導を効果的に行いたい。

設問4 教員やカウンセラーが相談に応じた対応ができています。

(保健相談部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	80.2%	19.8%
保護者	84.0%	16.0%
教職員	86.7%	13.3%

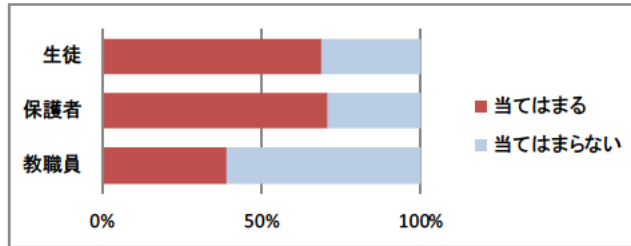


概ね例年通りの結果である。今後もSC、SSWと連携し、生徒や保護者の相談に適切に対応していきたい。生徒のカウンセリングに対する理解がやや低いので、カウンセリング便りや校内巡回など、存在をより周知していき、気軽に利用できるような工夫したい。

設問5 柴田農林高校の部活動は活発に行われている。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	68.9%	31.1%
保護者	71.0%	29.0%
教職員	39.1%	60.9%

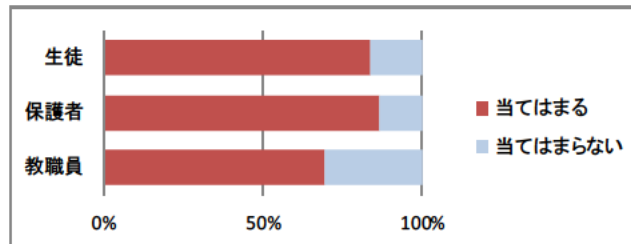


部活動加入率が相変わらず低く、不活発である。昨年度と比較すると生徒・保護者はほぼ同じだが、教職員は45.1%から減少している。部活動に対する在り方・捉え方に差があり、部活動を活発に行うことは顧問の意識・熱意など指導次第ではないか。

設問6 柴田農林高校の生徒会活動・農業クラブ活動は活発に行われている。

(生徒指導部・農場部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	83.6%	16.4%
保護者	86.8%	13.2%
教職員	69.6%	30.4%

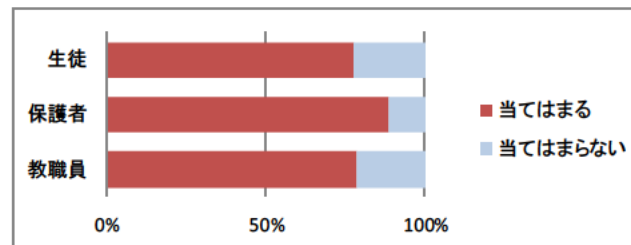


今年度はコロナ禍の中、感染予防対策をしっかりと、昨年度より学校行事を多く実施できたが、教職員は82.4%から減少しており、コロナ禍前の学校行事を実施できれば活発になるとと思われる。(生徒部)
 コロナ禍の中、農業クラブとしての活動が従来の動きを取り戻した。校内行事、県プロジェクト大会の運営など組織としての活動が活性化してきている。また、農業クラブ全国大会、農業鑑定競技で優秀賞、県プロジェクト発表で3チームが第2位入賞するなど生徒の活躍と成長が多く見られている。(農場部)

設問7 柴田農林高校の学校行事は楽しく充実している。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	77.5%	22.5%
保護者	88.3%	11.7%
教職員	78.3%	21.7%

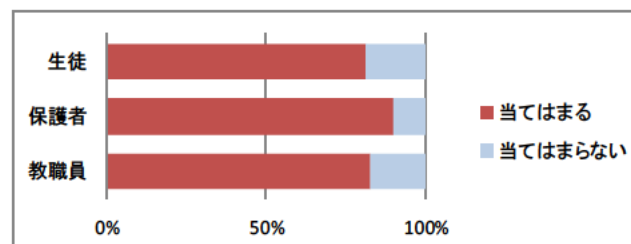


昨年度と比較すると、生徒66.2%⇒77.5%、保護者77.2%⇒88.3%、教職員66.7%⇒78.3%。いずれも向上している。コロナ禍ではあったが、体育祭、柴農祭、修学旅行などの行事を、感染予防対策を徹底しつつ行うことができた。そのため、昨年度よりいずれも10ポイント以上評価が高くなった。コロナ禍における学校行事のあり方にも徐々に理解が進んできていることが、生徒と、教職員がいずれも75%以上肯定的に評価していることにつながっていると思われる。

設問8 柴田農林高校は、学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	81.2%	18.8%
保護者	90.1%	9.9%
教職員	82.6%	17.4%

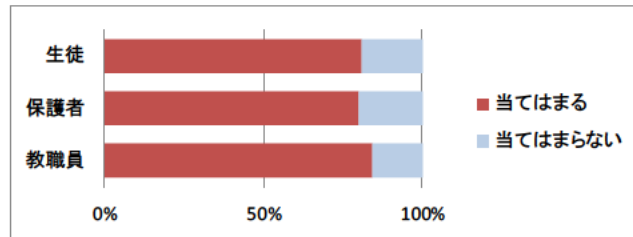


昨年度と比較すると、生徒76.9%⇒81.2%、保護者85.4%⇒90.1%、教職員74.5%⇒82.6%で、いずれも評価が高くなっている。コロナ禍でいろいろな教育活動が制限されるため、その中でも試行錯誤が続いているが、今後も努力を積み重ねていかなければならないところである。柴田農林高校の『強み』を意識して前面に押し出す工夫が必要と考えている。

設問9 生徒に対して災害時・非常時の避難方法や連絡方法が伝えられている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	81.2%	18.8%
保護者	80.1%	19.9%
教職員	84.4%	15.6%

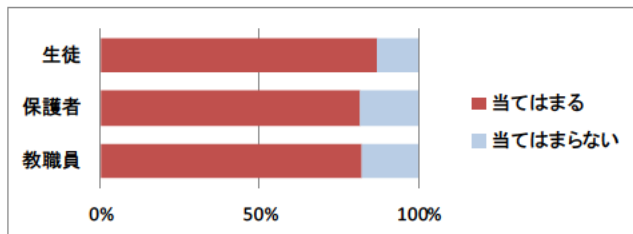


昨年度と比較して、生徒77.0%⇒81.2%、保護者80.7%⇒80.1%、教職員90.2%⇒84.4%で、生徒の評価は向上したが、保護者および教職員の評価が低下している。コロナ禍ではあったが、春と秋に避難訓練を実施しているが、今年度は2回とも体育館と武道館に分かれて避難する形式をとった。コロナ禍ということに加え校舎改築工事や校門前の歩道橋工事の影響で、グラウンドまでの避難経路を確保できなかったためでもあり、早急な対策を必要とする。冬場の避難訓練では、消火器の使い方を動画視聴を採り入れて行うなど、生徒に分かりやすいように工夫した。

設問10 保護者に対して、学校だよりなどによって学校の情報が適切に伝えられている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	87.0%	13.0%
保護者	81.6%	18.4%
教職員	82.2%	17.8%

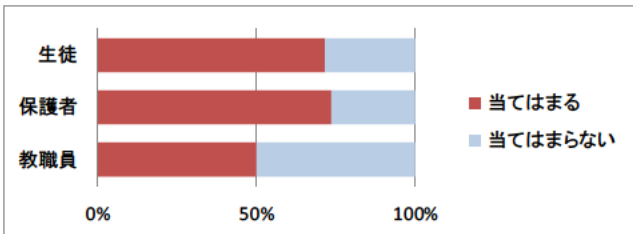


昨年度と比較して、生徒89.3%⇒87.0%、保護者80.0%⇒81.6%、教職員90.2%⇒82.6%で、横ばいか若干低下傾向の評価である。学校だよりは昨年度よりも内容が充実していると思われるが、生徒の手を通じて保護者にわたっている確率が低いのではないかと。Webサイトとの連携など広報の方法を検討しても良いかもしれない。

設問11 柴田農林高校の校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	71.7%	28.3%
保護者	73.9%	26.1%
教職員	50.0%	50.0%

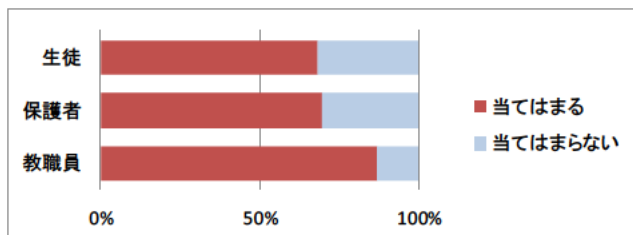


昨年度と比較して、生徒67.5%⇒71.7%、保護者72.9%⇒73.9%、教職員49.0%⇒50.0%で、ほぼ横ばいの評価である。新設校の校舎が完成間近になり、外観を見ることができるようになったが、柴田農林の生徒は立ち入ることができないので、残念がっているようだ。

設問12 柴田農林高校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	68.3%	31.7%
保護者	69.6%	30.4%
教職員	87.0%	13.0%

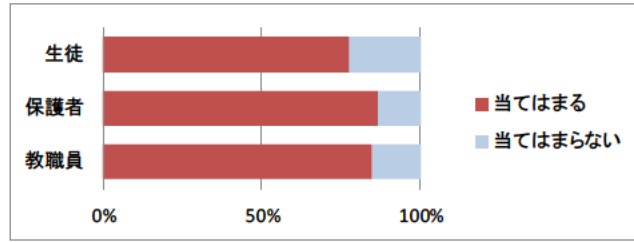


定期的なアンケートで情報収集をしている。問題が大きくなる前に担任、学年の段階で素早い対応が取れているところがある。しかし、「いじめ」と「からかい」との区別が難しく、見えないところではまだ多いと思われるので、今後もアンテナを高くし、全職員で情報を共有し、取り組んでいきたい。

設問13 {自分にとって／私の子供の／生徒の}学校生活は充実している。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	77.4%	22.6%
保護者	86.6%	13.4%
教職員	84.4%	15.6%

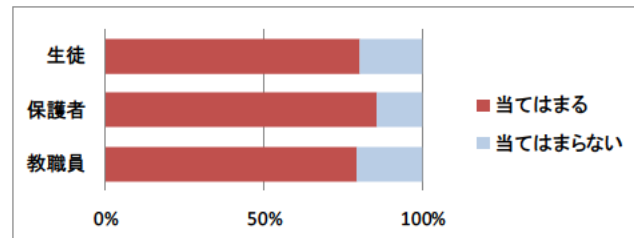


昨年度と比較して、生徒76.7%⇒77.4%、保護者87.8%⇒86.6%、教職員74.5%⇒84.4%で、生徒・保護者はほぼ横ばい、教職員は10ポイント近く高くなっているという結果だ。コロナ禍でも生徒は自分なりにうまく目標を見いだし、それに向けて努力することで充実して学校生活になっていると解釈できるのではないか。

設問14 柴田農林高等学校は、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。(生徒・保護者)
柴田農林高等学校は、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。(教職員)

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	80.4%	19.6%
保護者	85.5%	14.5%
教職員	79.5%	20.5%

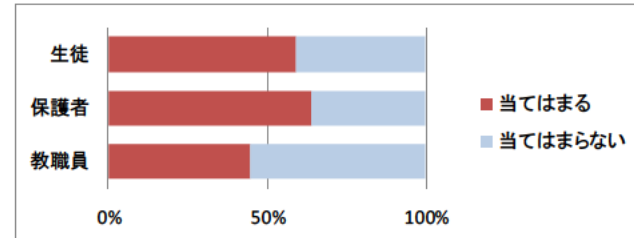


今年度から新たに取入れられた質問項目である。生徒80.4%、保護者85.5%、教職員79.5%といずれも高い評価になっている。従来の教育目標や校訓を、スクールポリシーという新しい考え方にうまく取り入れているので、理解されているのだと思われる。今後も押し進めていきたい。

設問15 {私は／私の子供は}テスト前に{1日1時間以上}勉強している。(生徒・保護者)
生徒はテスト前、熱心に勉強している。(教職員)

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	59.2%	40.8%
保護者	64.0%	36.0%
教職員	44.4%	55.6%

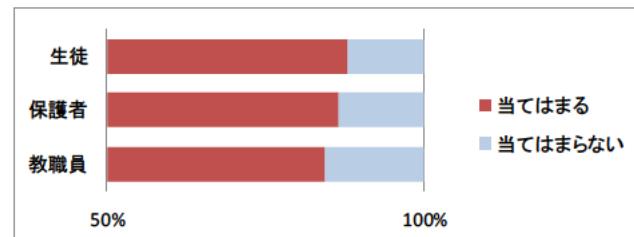


R3年度のデータでは生徒61.9%、保護者58.4%、教職員39.2%(当てはまる)で、生徒は減少、保護者は増加した。今年の教務部の目標として「生徒の学習時間の定着」を掲げ、県事業「基礎学力向上事業」で「放課後勉強会」を実施した。継続事業として長年実施してきたが、部活動単位、学習に向上心のある生徒は増えてはいるが、全体として学習習慣の定着までは至っていない。今後も継続して生徒、保護者に密に働きかけていく。

設問16 私は柴田農林高校の校則を{守っている(生徒)／知っている(保護者・教職員)}。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	88.0%	12.0%
保護者	86.5%	13.5%
教職員	84.4%	15.6%



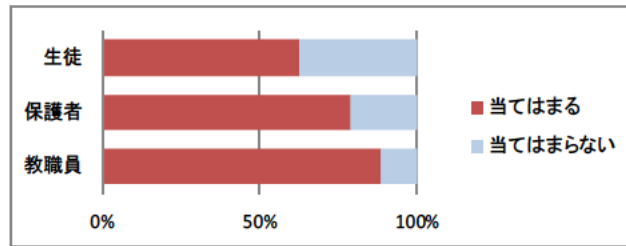
学年間での生徒指導の温度差がまだ見られる。一般常識・マナー・モラルの低下がかなり見られるので、服装・頭髪の乱れから正し、届け出・許可などについては所定の手続きを取らせるなど、気を緩めずに指導していきたい。

設問17 私は柴田農林高校の卒業生の進学先・就職先について

(進路指導部)

{よく知っている(生徒)/十分な情報提供を受けている(保護者)/十分な情報提供をしている(教職員)}。

	当てはまる	当てはまらない
生徒	63.0%	37.0%
保護者	79.0%	21.0%
教職員	88.6%	11.4%

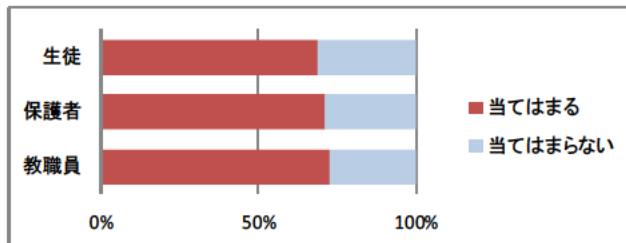


生徒への周知としては、毎年「進路のしおり」「スキルアップ学習」に記載されているが、十分な活用がされていない。今後は、有意義な活用ができるようなスケジュールを用意したい。

設問18 {私の/私の子供の}クラスはまとまりのある良いクラスである。(生徒・保護者)
柴田農林高校の学級経営はスムーズに行われている。(教職員)

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	68.8%	31.2%
保護者	71.0%	29.0%
教職員	72.7%	27.3%

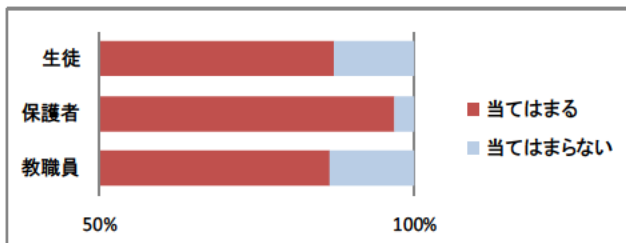


昨年度と比較して、生徒71.0%⇒68.8%、保護者79.2%⇒71.0%、教職員76.5%⇒72.7%で、生徒・保護者・教職員ともに低くなっていた。各クラス担任は、常に生徒のことを案じつつ、学級経営に努力しているが、一部で授業を大切にしない生徒の指導に手を焼いていることもあり、生徒・保護者の理解を得ることができていないと思われる。教職員としては厳しく自己反省をしているとも捉えられる。

設問19 柴田農林高校の農業教科の内容は充実している。

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	87.3%	12.7%
保護者	96.9%	3.1%
教職員	86.7%	13.3%

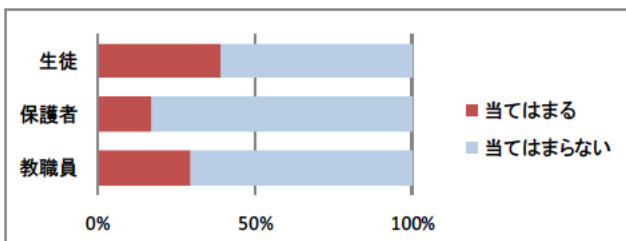


R3年度は生徒91.9%、保護者94.5%、教職員88.2%(当てはまる)であった。生徒は減少、保護者、教職員は増加した。三者の相違の原因は何か、特に生徒の声に耳を傾け、農業教員全体で問題解決にあたりたい。

設問20 柴田農林高校は、宿題・課題が多い。(生徒・保護者)
生徒に宿題・課題が多く出されている。(教職員)

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	39.4%	60.6%
保護者	17.3%	82.7%
教職員	29.5%	70.5%



R3年度は生徒30.3%、保護者19.8%、教職員27.5%(当てはまる)であった。生徒、教職員共に下降となり、保護者は微差ではあるが上昇した。要因として考えられるのは臨時休校措置がなくなり、学校から出された宿題、課題がなくなったことが生徒、保護者の認識なのではと推測される。

令和4年度 学校評価アンケート 集計結果 (地域住民)

設問1 柴田農林高校の生徒は、実習に熱心に取り組んでいる。



(コメント)昨年度91.3%⇒今年度95.0%。

昨年度よりもさらに向上した。90%を超えて高い評価を得ているのは、嬉しいと思う。しかし、この設問は以前は95%を超える高い評価だったので、今後もさらなる努力が必要かと思われる。

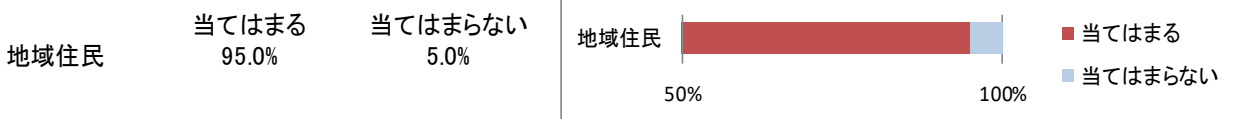
設問2 柴田農林高校の教職員は地域住民への対応が丁寧で良い。



(コメント)昨年度85.7%⇒今年度90.0%

昨年度よりもさらに向上した。校門付近での立哨指導や、販売実習での態度などが評価されていると思われる。

設問3 柴田農林高校の生徒は地域で良い評価を受けている。



(コメント)昨年度91.3%⇒今年度95.0%

昨年度よりも向上した。登下校時に交通マナーを守らないなどの批判的な意見は相変わらずあるものの「販売実習の時に丁寧な対応してくれた」など、好意的な意見もたくさん寄せられている。

設問4 柴田農林高校の生徒達は、挨拶をするなどマナーがよい。



(コメント)昨年度50.0%⇒今年度81.0%

昨年度よりも大きく向上しているが、より高い評価になるように努力をするべき項目である。この結果を素直に受け止めて、今後の生活指導に反映させなければならない。

設問5 私は柴田農林高校の制服に好感が持てる。

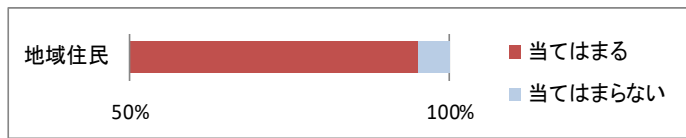


(コメント)昨年度86.4%⇒90.9%

昨年度よりも向上している。生徒の着こなしについての指導や、髪型、装飾品などに関する指導をさらに押し進めていきたい。

設問6 柴田農林高校の販売実習は、地域住民に好評である。

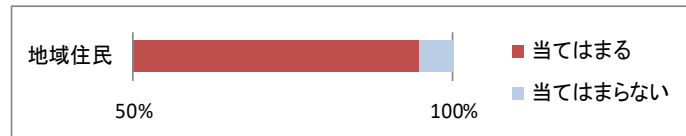
地域住民 当てはまる 95.2% 当てはまらない 4.8%



(コメント)昨年度91.3%⇒今年度95.2%
昨年度より向上している。生徒と販売実習担当の教職員が一体となって改善に取り組んだ結果、評価が高くなったものと思われる。今後もよりよいものを目指して、取り組んでいきたい。

設問7 柴田農林高校の部活動は活発である。

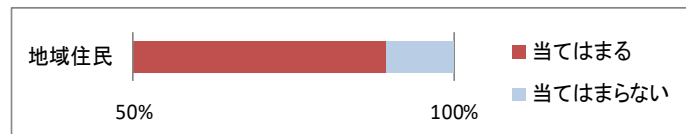
地域住民 当てはまる 94.7% 当てはまらない 5.3%



(コメント)昨年度85.0%⇒今年度94.7%
昨年度に比較して向上した。地域住民にとっては、校門前の掲示物や、グラウンドで活動している部活動の様子を見て判断している側面がある。

設問8 柴田農林高校は地域に開かれた学校で地域の教育活動にも協力している。

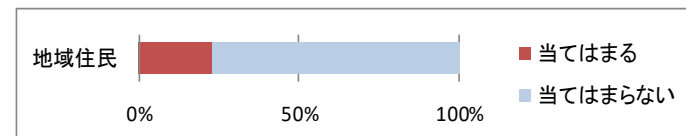
地域住民 当てはまる 89.5% 当てはまらない 10.5%



(コメント)昨年度71.4%⇒今年度89.5%
昨年度よりも評価が高くなっている。コロナ禍ではあるが、感染対策をしながら苗販売や農作物販売なども行うことができたことが、影響しているものと思われる。

設問9 私は、柴田農林高校ホームページその他の広報活動を知っている。

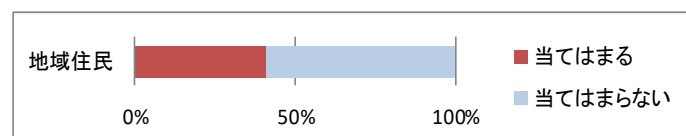
地域住民 当てはまる 22.7% 当てはまらない 77.3%



(コメント)昨年度19.0%⇒今年度22.7%
昨年度よりは向上したが、まだまだ低い評価である。インターネットによる広報だけでなく、地域向けの掲示板を活用するなど、広報について工夫していく必要がある。

設問10 私は、機会があれば柴田農林高校の授業の様子をみてみたい。

地域住民 当てはまる 40.9% 当てはまらない 59.1%



(コメント)昨年度63.6%⇒今年度40.9%
昨年度は大きく向上した項目である。今年度は20ポイントほど低下した。しかし、地域住民の関心は高いほうだと思われる。地域住民の方々が、温かい目で本校を見てくれていると感じる結果であった。

Ⅱ

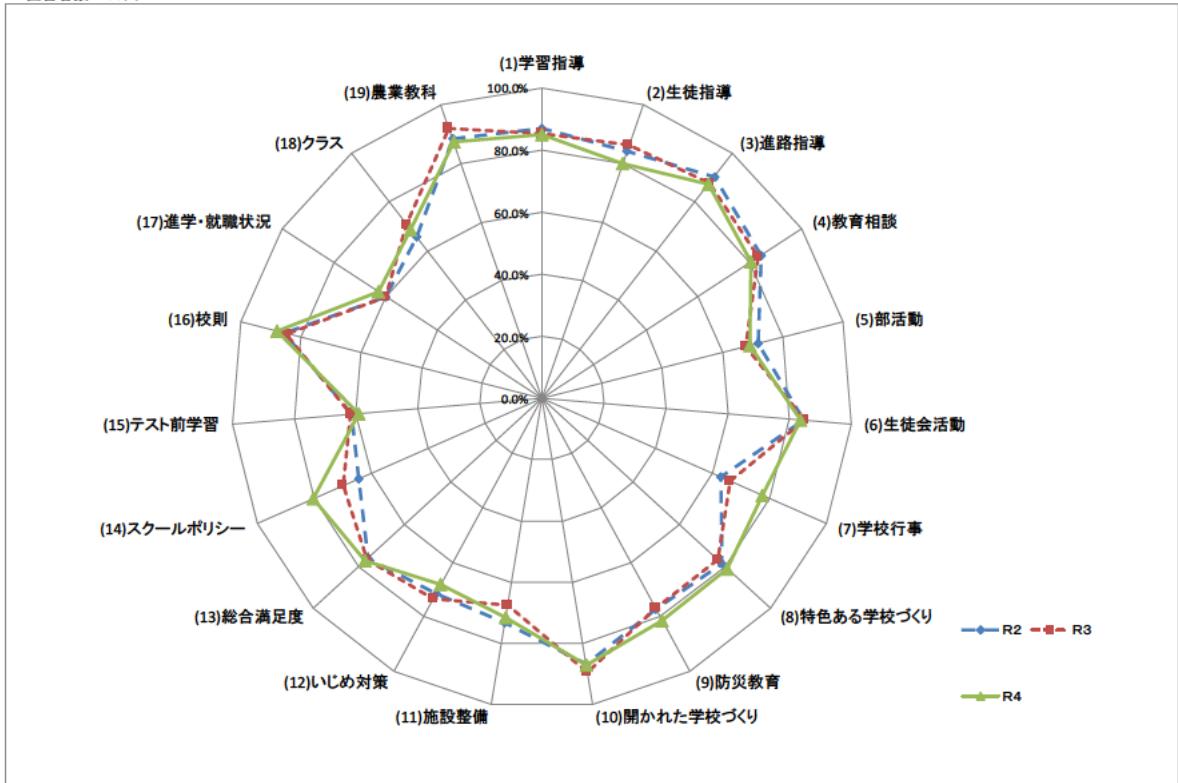
過去3年間の比較グラフ

(生徒・保護者・教職員)

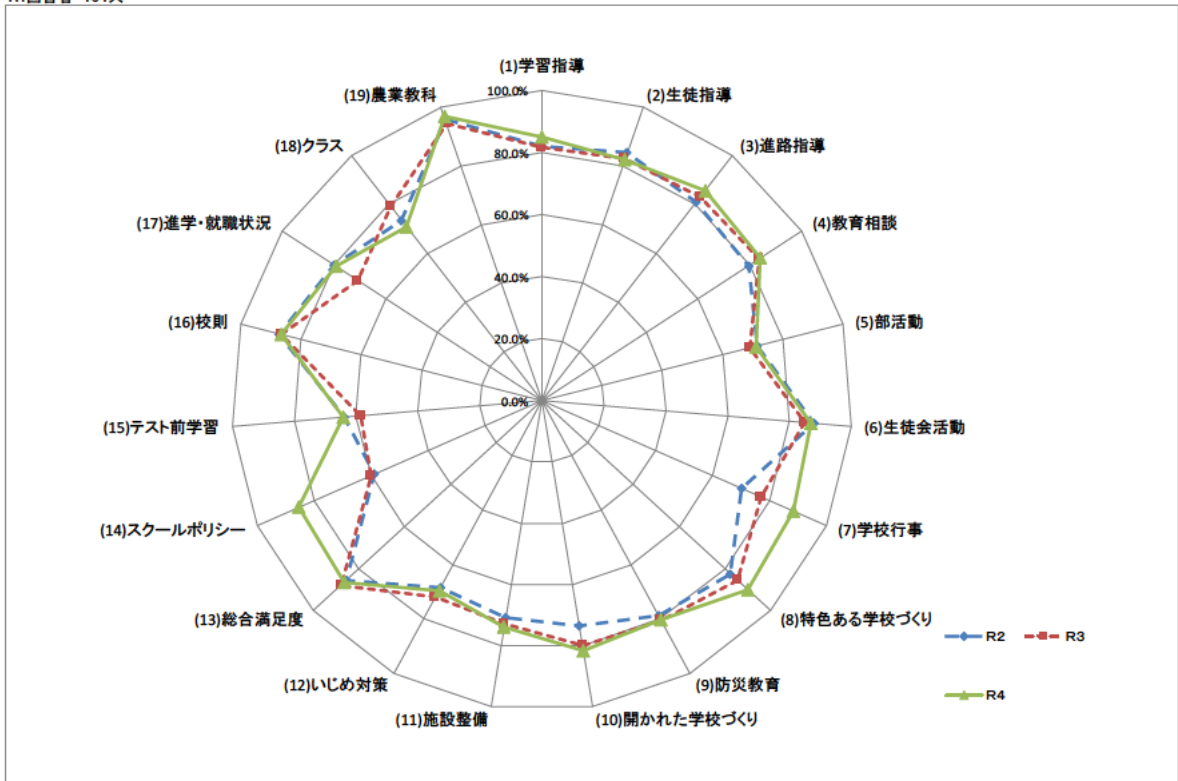


「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」の割合の合計比較

<生徒> R2回答者数 354人
R3回答者数 317人
R4回答者数 293人



<保護者> R2回答者 190人
R3回答者 221人
R4回答者 164人



<教職員> R2回答者 52人
 R3回答者 51人
 R4回答者 46人

